

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-10-26

なし

---

(発行年 / Year)

1910

債權者ハ自己ノ負擔スル給付ヲ爲シテ始メテ其相對給付タル保託物ヲ受取ルヘキハ當然ノ事理ニ屬スルニ因リ本條ハ獨乙民法第二章第百零二條ニ改テ特ニ本條ノ規定ヲ設ケテマシ

### 第四節 債權ノ讓渡

(理由) 既成法典ハ民法財産編第二章第一節第三款合意ノ效力ト題セル下ニ債權ノ讓渡ニ關スル總則ノ如キモノ竝ニ記名債權ノ讓渡ニ關スル規定ヲ置キ而シテ商法ニ於テ指圖證券及ヒ無記名證券ニ關スル規定ヲ稍詳細ニ設ケタレトモ今之ヲ一括シテ民法中ニ置クヲ可キリト信シ多數當事者ノ債權ニ次テ本節ヲ設ケタルナリ佛法及ヒ佛法主義ノ法律ハ總テ之ヲ買賣法ノ一部トスレトモ債權ノ讓渡ハ決シテ買賣ニ限レルモノニアラサルカ故ニ宜シク之ヲ債權ノ總則中ニ置クヘキモノトス而シテ又外國ノ法律ニハ債權讓渡ノ規定中ニ擔保ニ關スル法文ヲ挿入スルモノ多キモ擔保事ハ寧ろ其適用ノ尤モ廣キ買賣ノ規定中ニ入レテ之ヲ他ニ適用スルヲ便ナリト信シ本節ニハ之ヲ掲ケサルコトトセリ

第四百六十九條 債權ハ之ヲ讓渡ス可トヲ得但其性質カ之ヲ許ササルトキ又ハ特別契約ヲ以テ之ヲ禁シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ特別契約ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

(理由) 既成民法財産編ニハ本條ノ如キ明文ナレ共之ヲ掲ケザリシハ決シテ本條ニ反對ノ精神ニアラスレテ却テ當然言フヲ得タスト信シタルニ因ルナラシ猶物權ノ讓渡ヲ明許スルノ條文ヲキモ之ヲ讓渡スコトヲ得ルハ當然ナルカ如シ且既成法典ニ於テ一般ニ債權ノ讓渡ヲ許セルコトハ其財産取得編第百六十九條ニ於テ或ル種ノ債權ハ當然讓渡スコトヲ得ストシ他ノ種ノ債權ハ設定者之ヲ讓渡スコ

トヲ得スト定ムルヲ得トセルニ依リテモ之ヲ知ルヲ得テ財産編第二十七條及ヒ第二十九條等ノ規定ヲ見レハ其共意意ニ明カナリ債權ノ讓渡ハ外國ニ於テモ亦一般ニ許スルニテ然レモ白國民法草案ノ如キハ當事者ノ合意ヲ以テ債權ヲ讓渡スルコトヲ得スト定ムルニテ然レモ此點ニ關シテハ既成法典及ヒ諸外國ノ法律ト全ク同一ノ主義ヲ採ルニ拘ハラス之ヲ明揭シタル所以ハ我國古來ノ慣習トレテ債權ノ自由讓渡ヲ認メ今尙往々之ヲ禁スヘレト唱フル者アルヲ以テ若レ之ヲ明許スルノ條文ヲ掲ケザルトキハ其許否ニ關シテ或ハ疑ヲ懷テモナキヲ保セザラハナリ債權ノ自由ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ルヲ原則トシ唯或作爲ノ義務ヲ目的トセル債權ノ如ク其性質上之ヲ讓渡スコトヲ得サルモノ又ハ當事者ノ特別契約ヲ以テ其讓渡ヲ禁スルモノハ例外トシテ讓渡スコトヲ得サルコトトセリ或ハ特別契約ヲ以テ債權ノ讓渡ヲ禁スルコトヲ許ストキハ讓渡人ト讓受人ト共謀ニ因リ讓受人ノ債權者ヲ誑害スルノ弊ヲ生スヘレト云フ者アレトモ不讓與物ハ必スレモ悉ク差押ヘカラス物トスルコトヲ要セザレバ債權者ハ此合意ニ因ル不讓與物ヲ差押ヘテ債務ノ辨濟ニ供セシムルヲ得ルモノトスヘク從テ論者ノ忍ムルカ如キ甚キ弊害ヲ生セザレ

本條第二項ヲ讀ケタルハ當事者ノ契約ヲ以テ善意ノ第三者ヲ害スルコトヲ得ザラレメ爲メナリ第四百七十條 指名債權ノ讓渡ハ讓渡人カ之ヲ債務者ニ通知シ又ハ債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ之ヲ以テ債務者其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ通知又ハ承諾ハ確定日附アル證書ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ以テ債務者

以テノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

(理由) 本條ハ既成法典財産編第三百四十七條第一項ト其大體ノ主意ヲ同リウシ唯左ノ二點ニ於テ修正ヲ施シタルノミ

一 既成法典ニ於テハ讓受人カ其讓受ケタル債權ヲ債務者ニ對抗スルニモ合式ノ通知若クハ證書ヲ以テスルニ非サレバ必要トシタレトモ本條ニ於テ證書ヲ要スルハ單ニ此讓受ノ債務者以外ノ第三者ニ對抗スル場合ニ限リ蓋シ債權者ト債務者ト間ニアリテハ單純ノ通知若クハ承諾ヲ以テ十分ナリトシ證書ヲ必要トスルハ畢竟他ノ第三者ニ對シテ詐欺ノ生ズルヲ防カシメ爲メナリ果シテ此目ノニ因リテ證書ヲ要スルモノトセハ其證書ニハ確定日附ヲ附セサルヘカラス面シテ之ヲ附スル方法ノ如キハ特別ノ規則ヲ以テ規定スヘキモノトス

二 既成法典ハ前述ノ通知ヲ讓受人ヨリ爲スヘキモノトシ且之ヲ以テ十分ノ通知ナリトスレトモ讓受人自ラ其讓受ヲ通知シテ債務ノ辨濟ヲ請求セシモノトスルニキハ正當ノ讓受ヲ得サル者モ往々自在ニ讓受ヲ通知シテ債務者ヲ欺キ以テ其辨濟ヲ受ケル等ノ忍ムラレトセザルヲ以テ本條ハ改メテ通知ハ讓受人ヨリ之ヲ爲スヘキモノトセリ其此ノ如ク改メタル登記法ニ於テ登記ハ財産ノ讓受人ノ隨意ニ之ヲ爲シ得ザルモノトセルト同一ノ精神ナリトス

三 既成法典ハ前述ノ通知若クハ承諾ヲ絕對ノ必要トセシレテ第三者若シ或條件ヲ以テ讓渡ノ事實ヲ知ルトキハ通知若クハ承諾ナキモ尙其第三者ニ對シテ債權ノ讓受ヲ對抗シ得ルモノトスルモノト

案ハ先キ物權ノ讓渡ノ第三者ニ對抗スルニハ動産ノ引渡若クハ不動産ノ登記ヲ絕對ノ要件ト爲  
レタルカ如ク債權ノ讓渡ニ於テモ亦通知若クハ承諾ヲ絕對ノ要件トシテリ

第四百七十二條

債務者カ留保ヲ爲サスシテ前條ノ承諾ヲ爲シタルトキハ讓渡人  
ニ對抗スルコトヲ得ヘカリシ事由アルモ之ヲ以テ讓受人ニ對抗スルコトヲ得ス  
但債務者力讓渡人ニ拂渡シタルモノアルトキハ之ヲ取返シ讓渡人ニ對シテ負  
擔シタル債務アルトキハ之ヲ成立セサルモノト看做スコトヲ妨ケス

讓渡人カ讓渡ノ通知ヲ爲シタルニ止マルトキハ債務者ハ其通知ヲ受クルマテニ  
讓渡人ニ對シテ生シタル事由ヲ以テ讓受人ニ對抗スルコトヲ得

(理由) 本條ハ既成法典附屬編第三百四十七條第二項及第五百二十七條ヲ併合シテ其意ヲ擴張敷  
行シタルニ過キス第三百四十七條第二項ハ單ニ債務者ハ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人ニ對スル抗  
辯ヲ新債權者ニ對抗スルコトヲ得ストシ讓渡ノ以前ニ既ニ辨濟更改若クハ相殺等ヲ爲シタルトキハ

之ヲ如何スヘキヤラ詳カニセス而シテ第五百二十七條ハ單ニ相殺ニ關レテ言ハルノミナルヲ以テ茲  
ニ本條ノ如ク修正シテ一切ノ場合ヲ明カニ規定シテリ

第四百七十二條

指圖債權ノ讓渡ハ其證券ニ讓渡ノ真書ヲ爲シテ之ヲ讓受人ニ交  
付スルニ非サレハ之ヲ以テ債務者其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

(理由) 既成法典ハ本條ノ規定ヲ商法中ニ置クト雖モ指圖證券ノ讓渡ハ決シテ商事ニ特別ノモノニ非

サルカ故ニ本條ニ於テハ其一般ノ原則ハ之ヲ民法ニ揭ケ唯商事ニ限リテ適用スヘキモノノミヲ商法  
ニ讓ルコトトセリ本條ハ商法第三百九十四條ニ修正ヲ加タルニ過キス而シテ原文ハ指圖債權ヲ金  
額文ハ商品ノ引渡ニ係ルモノニ限レルヲ以テ明文ノ解釋ニ據ルニ依リテ之ヲ讓渡  
スコトヲ得サルノ結果ヲ生シ現今ノ時世ニ照テ狹隘ヲ感スルヲ以テ本條ハ之ヲ改メ債權ノ概シテ

指圖式ト爲スヲ得ルモノトシ之ヲ禁スルノ必要アル場合ニ限リテ特ニ明文ヲ掲グルコトトセリ尙原  
文ニハ書面契約ヨリ生スル債權ニ言ヘルヲ以テ或ハ口頭契約ヨリ生スル債權ハ之ヲ指圖式ノモノト  
スルヲ得サルヤヲ疑フ生スルモ之レ畢竟其條辭ノ推ナルニ過キスレバ既成法典ノ本意トスル所ハ蓋  
シ書面ノ證據ヲ有スル債權ト曰フモノナルヘシ故ニ本條ニ於テ此文ヲ省キテリ

商法第三百九十五條ハ性質上指圖式ノ證券ヲ其發行人又ハ裏書讓渡人ノ意思ニ依リテ之ヲ指圖式ノ  
モノトスルヲ得トノ規定ナレトモ此ノ如キ規定ハ手形ノ場合ヲ除キテ他ニ殆ントモ適用ヲ見サレモ  
ノナルヲ以テ債權讓渡ノ總則ニ之ヲ置クノ必要ノキナリ蓋シ手形ノ場合ニアリテハ其發行人並ニ總  
テノ裏書讓渡人ハ悉ク債權請求權ニ服スヘキモノナルヲ以テ何人モ自己ノ信用スル者ノ外ニ之ヲ讓  
渡サルハコトヲ好マサルヘク從テ其手形ヲ指圖式ノモノト爲スノ必要アレトモ他ノ指圖證券ニア  
リテハ讓渡ニ因リテ債權請求權ヲ生スルモノ極メテ少ク偶々之アル場合ニハ其場合ニ關シテ特別ノ  
規定ヲ爲セハ可ナリト信シテ同條ヘ之ヲ削除セリ

商法第三百九十六條ハ法律ニ明文ナクテモ通常世人ノ爲ス所ナルヲ以テ之ヲ掲グルノ必要ナキノ

ナラス之ヲ掲ケテ法ノ要件ト爲ストキハ却テ些少ノ欠漏ヨリテ其證券若クハ之カ裏書ノ無効ヲ惹起スルノ弊アルヲ以テ同條之ヲ削除スルニ原文ニ於テ署名ト捺印ノ二者ヲ併セ要スルモノトスルカ如キハ重複ニ失スルノ嫌アリ

商法第二百九十七條モ之ヲ削除ス蓋シ當然言フヲ待タル所ナレハナリ既成法典ニ於テ其財産編第三百二十六條ニ當事者ノ證券ニ明示シタル原因ノ不成立重要若クハ其不法ノ反證スルヲ得ルモノトシ殊ニ本案ニ於テハ原因ヲ契約ノ原素トセサルニ因リ益同條ニ必要ヲ感ス

商法第三百九十八條ノ規定モ亦明文ヲ要セサルモノナリ抑白地ノ裏書ナルモノハ果竟裏書ニカ債權讓渡ノ意思ヲ表示シテ未キ何人ニ之ヲ讓渡スヤヲ明シニセス證券ノ讓受人ヲシテ自己ニ代ハリテ之ヲ定メシムルモノナルヲ以テ反對ノ條文ナキトキハ之ヲ爲スコトヲ得ルハ當然ナリトス掲キ手形ニ至リテハ或ハ白地ノ裏書ハ方式ノ欠缺アルモノニシテ無効ナリト言フ者アルヲ以テ其無効ニアラザル旨ヲ明書スルノ必要ヨリテ諸國ノ手形法ニ共旨ヲ掲グルモノ多キモ未ダ一般ノ指圖證券ニ關シテ我商法ノ如キ條文ヲ掲グルモノヲ見サルナリ

商法第四百二條ハ當然言フヲ待タル所ナリ其第四百二條ハ指圖證券ノ盜取セラレ又ハ紛失若クハ滅失シタル場合ニ之ヲ無効トスル場合ヲ定メタルモノニシテ商法ニ之ヲ掲グルノ理由ナキニアラザルモ既ニ民事訴訟法第七十七條以下ニ之ニ三類ノ規定ヲ設ケアルニ由リ今少シシテ民事訴訟法ニ修正ヲ加フルトキハ以テ商法第四百二條ノ意ヲ貫徹シタルヲ得キカ故ニ前掲ノ二條ハ總テ

之ヲ削除スルニ  
第四百七十三條 指圖債權ノ債務者ハ其證券ノ所持人及ヒ其署名捺印ノ眞偽ヲ調査スル權利ヲ有スルモ其義務ヲ負フコトナシ但債務者ニ惡意又ハ重大ノ過失アルトキハ其辨濟ハ無効トス

(理由) 本條ハ既成法典商法第四百條ト其主意ヲ同シツル商法ニ於テ辨濟者ニ惡意又ハ甚シキ惡徳アルトキハ之ニ依テ損害ヲ蒙リタル者ハ其賠償ヲ請求スルコトヲ得トセルヲ本案ニ於テ改メテ其辨濟ヲ無効トシタルナリ蓋シ原文ノ如クズルトキハ讓受人ハ先ツ不當辨濟ヲ得タル者對シテ返還ヲ請求シ足ラサル所ヲ賠償トシテ發行人ニ請求スルヘキコトナリ讓受人ニ煩累ヲ醸スルコト頗ル大ナルヲ以テナリ若シ原文ノ意ニシテ讓受人ハ直ニ惡意又ハ重大ナル辨濟者ニ對シテ請求ヲ得ルモノトスルニアラハ寧ロ本條ノ如ク記載シテ其辨濟ヲ無効トスル旨ヲ明示スルヲ可トス既成商法ノ手形ニ關スルノ規定ハ蓋シ本案ノ意ニ外ナラサルヘレ

商法ニハ單ニ呈示人ノ眞偽ヲ調査スル權利アリトセルヲ本案ニ於テ修正レ所持人及ヒ其署名捺印ノ眞偽ヲ調査スルノ權利アリトセリ

第四百七十四條 前條ノ規定ハ證券ニ債權者ヲ指名シタルモ其證券ノ所持人ニ辨濟スヘキ旨ヲ附記シタル場合ニ之ヲ準用ス

(理由) 本條ノ規定ハ既成法典ニナキ所ナレトモ送金手形又ハ政府ヨリ出ス支拂命令ノ中ニ債權者

ヲ指名シ面ニ辨濟ハ其證書ノ所持人ニ之ヲ爲スヘキ旨ヲ附記セル者多クテ而シテ此等ノ證書ハ指圖證  
 券ニアラス又純然タル無記名證券ニモアラサルヲ以テ本條ノ規定ヲキトキハ之カ辨濟ニ當リテ債務  
 者ノ有スル調查權ノ性質ニ疑ヲ生スルノ恐アルヲ以テ牽連法ニ依テ之ヲ揭ケタナリ  
 第四百七十五條 指圖債權ノ債務者ハ其證券ニ記載シタル事項及ヒ其證券ノ性質  
 ヲリ當然生スル結果ノ外原債權者ニ對抗スルコトヲ得ヘカリシ事由ヲ以テ善意  
 ノ譲受人ニ對抗スルコトヲ得ス

(理由) 本條ハ商法第三百九十九條及ヒ第四百二條ヲ併合シタルモノナリ右第三百九十九條ニハ發行  
 人ハ受取證ヲ記シタル指圖證券ノ提示及ヒ交付ヲ受ケテ金額若クハ商品ノ引渡ヲ爲スヘキモノトセ  
 ルモ本條ハ既ニ受取證ニ關スル規定ヲ法文ニ規定セサルノ主義ヲ採リシヲ以テ指圖證券ノ場合ニ於  
 テモ又之ヲ規定セサルコトトモテ同條ニハ指圖證券ノ發行人ハ豫メ引受ヲ爲サズト雖モ金額又ハ商  
 品ヲ引渡シ義務アリト言フモ發行人自ラ支拂ヲ爲スニ豫メ引受ヲ爲サズト要セサルハ言フ待タサルコ  
 トニシテ且同條但書ノ事項モ本條ニ記載セル證券ノ性質ヨリ當然生スル結果ト言ヘル中ニ包含セザ  
 ルヲ以テ併セテ之ヲ削除シテ右第四百二條ハ發行人ハ自己ニ屬スル抗辨ニ依テ義務ノ履行  
 ヲ拒ムヲ得ル旨ヲ明言スルモ是レ亦言フ待タサル所ナリヲ以テ削除シ此等ノ削除ト其爲餘ノ補條ト  
 ニヨリテ遂ニ本條ノ規定ヲ生シタルナリ

第四百七十六條 前條ノ規定ハ無記名債權ニ之ヲ準用ス

(理由) 本條ハ既成法典商法第四百四條ト其主意ニ於テ大差ナシ既成法典ニハ無記名證券ハ交付ノ  
 ヲ以テ之ヲ他人ニ轉付スルコトヲ得ト言ヘト本條ハ既ニ物權權ニ於テ無記名證券ニハ動産ノ規定ヲ  
 適用スル旨ヲ明言シ而シテ動産ハ引渡ニ依テ其權利ヲ移轉スルモノトシタルヲ以テ無記名證券ノ單  
 ニ交付ノモノヲ以テ轉付シ得ルハ別ニ條文ヲ要セズレテ明カナルコトナレシヲ以テ原文ニ所持人ノ權利  
 ハ證券ノ旨趣又ハ法律命令若クハ慣習ニ依リテ之ヲ定ムト言ヘトモ寧ろ本條ノ如ク證券ニ記載シタ  
 ル事項及ヒ其證券ノ性質ヨリ當然生スル結果ニ依リテ之ヲ定ムヘキモノトスルキハ法律命令等ヲ  
 包含シテ尙餘アルヲ以テ茲ニ原文ヲ改メ無記名證券ニハ前第四百七十五條ノ規定ヲ準用スルコトト  
 レタリ